

キグチテクニクス 航空機部品試験に参入 国際認証取得 拠点拡充し営業攻勢

日本経済新聞

2010年(平成22年)5月8日(土曜日)

キグチテクニクス 航空機部品試験に参入

国際認証 取得 拠点拡充し 営業攻勢

金属や電機メーカー向けに金属材料の試験などを手掛けるキグチテクニクス(島根県安来市、木口重樹社長)は航空機分野に本格参入する。航空機の製造工程に必要な認証を取得。営業拠点も拡充する。新興国での旺盛な航空機需要を背景に市場拡大が見込めるため、航空機向け試験業務を事業の柱に育てる。



米国製の最新の試験装置を導入した(島根県安来市のキグチテクニクス本社)

このほど認証されたのは国際特殊工程認証プログラム「Nadcap」(ナドキャップ)。米ボーイングなど欧米の航空機業界が設立した国際機関が定める、品質保証や特殊工程の規格。高度な専門知識や技術、実績が必要とされ、国内の材料試験所での取得は

7社目になる。航空機関連の部品製造では材料の強度などの試験が不可欠で、ナドキャップの認証を持つ企業での試験が必要となる。同社は新規参入のため、ほかの国際機関から品質管理などの認証を得たう

え、必要な試験装置などを導入し6年がかりでナドキャップを取得した。今後は営業拠点の拡充により、受注活動を本格化させる。従来の関東事業所(東京・杉並)に加え、昨年10月には大阪市内に開設。今秋には航空機関連メーカーが多い中

金属や電機メーカー向けに金属材料の試験などを手掛けるキグチテクニクス(島根県安来市、木口重樹社長)は航空機分野に本格参入する。航空機の製造工程に必要な認証を取得。営業拠点も拡充する。新興国での旺盛な航空機需要を背景に市場拡大が見込めるため、航空機向け試験業務を事業の柱に育てる。

このほど認証されたのは国際特殊工程認証プログラム「Nadcap」(ナドキャップ)。米ボーイングなど欧米の航空機業界が設立した国際機関が定める、品質保証や特殊工程の規格。高度な専門知識や技術、実績が必要とされ、国内の材料試験所での取得は同社で7社目になる。

航空機関連の部品製造では材料の強度などの試験が不可欠で、ナドキャップの認証を持つ企業での試験が必要となる。同社は新規参入のため、ほかの国際機関から品質管理などの認証を得たうえ、必要な試験装置などを導入し6年がかりでナドキャップを取得した。

今後は営業拠点の拡充により、受注活動を本格化させる。従来の関東事業所(東京・杉並)に加え、昨年10月には大阪市内に開設。今秋には航空機関連メーカーが多い中部地区にも設ける計画。将来は海外からの受注獲得も目指す。

航空機分野の業務は高度な技術が要求されるが、付加価値も高いという。同社の年商は十数億円の規模で現在、航空機関連業界向けの売り上げは5%以下。3

部地区にも設ける計画。将来は海外からの受注獲得も目指す。航空機分野の業務は高度な技術が要求されるが、付加価値も高いという。同社の年商は十数億円の規模で現在、航空機関連業界向けの売り上げは5%以下。3年後には同分野の売り上げを20%以上に高める考えだ。

同社は金属の疲労具合や硬さなどを試験するだけでなく、試験片の加工・製作まで手掛ける一貫体制に強みを持つ。金属や電機業界向けが主力だがリーマン・ショック後の不況で受注競争が激しくなっているという。

年後には同分野の売り上げを20%以上に高める考えだ。

同社は金属の疲労具合や硬さなどを試験するだけでなく、試験片の加工・製作まで手掛ける一貫体制に強みを持つ。金属や電機業界向けが主力だがリーマン・ショック後の不況で受注競争が激しくなっているという。